



【発信日】令和4年10月4日

【問合わせ先】

大野市役所（2階24番窓口）

地域づくり部 地域文化課 中屋、表

電話 0779-64-4834

～溢れ出る感情を「絵」で表現～

西野カイン展「Anonymous」開催

「孤独」や「生きづらさ」を繊細な線で表現し、若者から共感を得ている西野カインさんの展覧会を開催します。福井や東京などでライブペイントを行う、若いアーティストです。

周知及び取材をどうぞよろしくお願いいたします。

記

1 会 期 令和4年10月8日（土）～11月23日（水・祝）

2 場 所 COCONOアートプレイス

3 観 覧 料 大人300円 中学生以下無料

4 展 示 数 約50点（うち、新作3点）
※新作のうち1点は、大野を題材とした絵画

5 そ の 他 初日（10月8日）は西野カインさんが在廊します。

6 関連イベント

・ライブペイント 90×180cmの大きな画面に描きます。

日 時 【1回目】10月16日（日） 13:00～16:00

【2回目】11月20日（日） 13:00～16:00

場 所 COCONOアートプレイス

Anonymous

西野カイン アノニマス

2022

10.8 sat → 11.23 wed



COCONO アートプレイス 企画展
主催：大塚市



A nonymous

例え飼いだとしても
人工能ではない
生きた人間だから
痛くも辛くもなるんだ

この言葉は表の作品タイトルである。

溢れ出る負の感情を、自分の手で紡ぎだし、「絵」と「言葉」で表現する。

細く細かい線によって描かれた人物表現は、何本も重なり合うことで太い線となり、西野カインの固い意思として具現化される。

自我が強く、集団生活に馴染めない。自分の存在意義、生きる意味とは何かわからず自暴自棄になる。死にたいと。

西野はこうした感情を隠すことなく絵で表現する。そこに添えられたタイトルは

西野自身の経験を通して抽出された言葉であり、社会への彼女なりの問題提起である。

若い西野が、他人から何と言われようとも恐れられなく表現するのは、今を生き、日々辛いことに直面する私たちに

「あなただけでは足りない。自分を信じられないとき、生きていくのがつらいと感じたとき、一人で抱え込まず何かで表現してわかってくれる人がいるはず。私はそうだったから。」と伝えるためだ。西野の作品は「見、グロテスクな表現や、暗い絵に思えるかもしれない。しかしそこにある西野の優しさを感じてほしい。」



Workshop



ライブイベント

“大野の空気”と
“西野カインの感情”が
どのような
化学反応をもたらすか、
90×180cmの
大きな画面に描きます。
お楽しみください。

10.16 日

13:00 ~ 16:00

11.20 日

13:00 ~ 16:00

- | | | |
|-------|-------|--|
| 2001年 | —— | 福井県越前町生まれ |
| 2015年 | —— 14 | 初めて展覧会に出展する / 「ゴアデッキ展」(大阪) |
| 2016年 | —— 15 | 三人展を自主企画 / 「切断魔」(東京)
初めて原画が売れる
「福井中学生アートリンピック展」銀賞受賞
「奥都市展」(名古屋) |
| 2017年 | —— 16 | 初めてライブイベントを行う
「愛知アートフェスタ 百人ライブイベント」 |
| 2018年 | —— 17 | 防波壁に10メートルの壁画を制作(浜城県土浦市)
個展「拝啓、親愛なる孤独」(東京 / 原宿) |
| 2019年 | —— 18 | 所持金3000円とペンだけ持って上京し、生活費を投げ銭のみとする。
路上ライブイベントで東京、大阪、名古屋を巡る |
| 2020年 | —— 19 | 個展「カタストロフィ」(福井) |
| 2021年 | —— 20 | NHKドキュメンタリー「孤独を描いて」放送
岩波ジュニア新書出版書籍
「自分を受えたい」のカバーイラスト、挿絵を担当 |

西野カイン



COCONO アートプレイス
0779-64-4848
<https://www.cocono-art.jp/>



休館日：月曜日(祝日をのぞく)・祝日の翌日
開館時間：9:00~17:00 ※月曜休館
観覧料：大人 300円 / 中学生以下無料
障がいのある方 150円

COCONO アートプレイス

